

新十津川町オーガニックビレッジ宣言書



新十津川町は、奈良県十津川村からの団体移住によって拓かれ、先人たちの逞しい開拓精神と、団結の力によって築かれた由緒ある町です。

石狩川の恵みを受けた豊かな土壌を活かし、開拓初期から農業に力を入れ、伝統と自然を守りながら発展を続けてまいりました。

現在、町の基幹産業である農業は、農家戸数の減少や担い手不足という課題に直面しており、これらに対応するため、町では、関係機関と協力し、スマート農業の普及や基盤整備などを推進してまいりました。

一方で、世界的に環境問題への関心が高まっており、国内においても環境に配慮した農業が求められております。消費者の安全への志向も一段と高まっており、有機農業などの環境配慮型農業へのニーズは日々増大しております。

基幹産業である農業を守り次世代に繋いでいくためには、農業者が多様な経営スタイルを選択できる環境が必要であります。

スマート農業などによる合理化の推進とともに、環境配慮型農業に取り組みやすい環境をつくることも必要不可欠であると考え、令和8年3月に新十津川町有機農業実施計画を策定いたしました。

本計画の確実な実行を通じ、時代に即した環境配慮型の農業の推進を図ってまいります。こういった取組をもって、農業者の所得向上に向けた選択肢を広げ、本町農業の持続可能性を確固たるものにするを旨とし、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言いたします。

令和8年4月30日

新十津川町長 谷口 秀 樹

